

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



新診療棟イメージ図



2010

vol. **34**

H22.4 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

病院の改築について



院長 新居 隆

ご存じとは思いますが、病院の改築計画がいよいよ動き出しました。

もともと管理棟は昭和49年竣工、外来棟は昭和57年竣工でどちらも築後年数が経過し、耐震基準に合致していません。老朽化・狭隘化も著しいのでどうしても改築する必要があります。高度医療棟（放射線部門・検査部門・手術部門・腎センター）は平成元年に建てられましたので耐震基準は満たしていますが、現在求められている医療を遂行するにはスペースや構造上の問題が山積みでこれ以上の新たな拡充や変更は不可能の状態です。

黒部市民病院の使命は地域医療の中で地域のほかの機関では遂行できない医療を担うこと、それはおもに救急医療・急性期医療であると病院のスタッフは考えています。また医療圏内の医療関係の方々にもそのようにお考えのことと確信しています。しかし、今後進歩し展開されていくであろう先進的な救急医療・急性期医療を黒部市民病院で実現していくには今の施設の状態でこれ以上の対応は不可能です。

このような事情から、管理棟と外来棟の改築が病院の課題となったとき、一気に病院機能の充実を図れるような改築にすることを決断しました。多額の費用がかかりますし、建物としてはまだ耐用年数が残っているのにもったいないとの考えもありましたが、いま改築しないといずれすぐ間に合わなくなると判断しました。

この3月から基本設計にとりかかり、基本的構造を1年間でまとめます。さらに次の1年でこまかな設計図を完成し、平成24年度に着工します。敷地内での改築ですので段階的に解体と建築が進められます。竣工は28年度と目標設定されています。設計図を描くにあたり、何よりも機能を重視した計画をめざします。第1に地域救命センター、第2に手術部門・検査処置部門の充実です。医療の社会状況と医療技術やシステムのめまぐるしい変化に柔軟に対応できるような構造を用意する必要があると考えています。第3に研修部門を充実させ、技術研修などにも使いやすいスペースを確保し、地域の医療関係者にも利用しやすいものになりたいと考えています。

建築方針を決定する建築委員会には地域住民の代表や地元医師会の代表の方にも入っていただいてそれぞれの角度から貴重な意見をいただいています。病院スタッフが中心になって計画を検討するものではありませんが、皆さんからのご意見にも耳を傾けながら作り上げていきたいと思っております。

ITを利用した在宅治療における多職種の情報共有について



地域医療連携室長
中田 明夫

治療を行う上で、その患者さんの治療に関係するすべてのスタッフが情報を共有する事の重要性については今さら言うまでもない事と思います。病院内では電子カルテによって患者さんの医療に関与するすべての職員が情報を共有できますし、また、扇状地ネットによって地域のかかりつけ医の先生にも情報を共有していただく事が可能となっています。

しかしながら、患者さんが退院した後については病院の電子カルテを離れる事となり入院中のような情報共有ができませんでした。特に悪性疾患や胃瘻増設後の在宅療養中の患者さんでは、かかりつけの主治医の先生以外に副主治医の先生、訪問看護師、ケアマネージャー、ヘルパー、薬剤師、そして時にはリハビリ担当者に至る多職種の連携がかかせません。もちろん、理論的には在宅療養のための電子カルテを新たに構築するという方法もありますが、そのためには莫大な初期投資のみでなく、その後のメンテナンス費用もかなり大きなものになってしまう事は容易に想像され、現実的ではありません。そこで御存じの方も多いと思われませんが、中川先生を始めとして設立された新川地域在宅医療療養連携協議会が中心となり、ITを用いた在宅療養患者さんの情報共有の試みが開始されています。具体的にはマイクロソフト社のGrooveというソフトウェアを用いて、特別なサーバー等を用意する事なく、強固なセキュリティーに守られたリアルタイムの情報共有を可能にするといった仕組みです。これに対しては富山県のモデル事業として県からの補助も頂きソフトウェアの導入等に使用させていただいております。黒部市民病院からの退院患者さんについては、フレンディーも微力ながら関わっておりますが、Grooveの中ではかなり活発な意見交換が行われており頼もしい限りです。

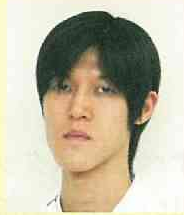
パソコン、ITというどうしても日頃使わない人にとっては近寄りやすい印象もありますが、実際に使ってみるととても便利なものです。このGrooveによる連携がきっかけになり、これまではパソコン、ITとは距離を置いていた人達にもそのハードルが低くなってくれればと願っております。

平成22年度 新任医師紹介

内科



医員
よしむら だいじゅ
吉村大樹
専門：循環器内科
内科一般



医員
たなか あきひろ
田中章浩
専門：消化器内科



医員
たけこし かい
竹越快
専門：消化器内科

外科



医員
なかぬま しんいち
中沼伸一
専門：消化器外科
内視外科
乳腺外科

整形外科



部長
ふじた ゆうすけ
藤田雄介
専門：骨折外傷
関節外科
スポーツ障害



医員
すがぬま かつよし
菅沼勝義
専門：整形外科一般
脊椎
スポーツ



医員
わたなべ けんた
渡邊健太
専門：整形外科一般



産婦人科



医員
すみたに たかよし
炭谷崇義
専門：産婦人科一般



医員
いとう みか
伊藤実香
専門：産婦人科一般



医員
なかむら さやか
中村さやか
専門：産婦人科一般

皮膚科



医員
たかはし さちよ
高橋幸代
専門：皮膚科一般

脳神経外科



部長
やまもと ひろみち
山本 博道
専門：脳血管内治療
頰椎外科

耳鼻咽喉科



医員
きたがわ のりこ
北川 典子
専門：耳鼻咽喉科一般

麻酔科



医員
かたがき ひさし
片岡 久嗣
専門：麻酔一般

神経内科



医員
こまつ じゅんし
小松 潤史
専門：神経内科一般

放射線科



医員
なか がわ みこと
中川 美琴
専門：放射線科

形成外科



医員
たいぞう はるひさ
台 蔵 晴久
専門：形成外科一般
眼瞼形成
再建外科

臨床研修医 2年生



ないとう のぶしげ
内藤 暢茂



うら たりゅうじ
浦田 隆司



臨床研修医 1年生



さとう こういち
佐藤 晃一



たなか けんけん
田中 健



ひきやま はるか
引山 晴香



こもり せいこ
小森 聖子



しばた しゅうたろう
柴田 修太郎



おおむら ひとし
大村 仁志



しょうだ よしみ
庄田 佳未



くまい たつお
熊井 達男



ふじおか はやと
藤岡 勇人

Drヘズーム

～昨年10月より着任のドクターへ質問～

- Q1. 余暇はどのように過ごされていますか？（趣味・スポーツ・ストレス発散法など）
Q2. 黒部散策（地、味）されましたか？
Q3. 当院着任から半年が経ちましたが、感想などいただけますか？



小児科医員
梅川 悟司先生

- A1. 勉強、水泳、登山
A2. 藤の湯、黒部市民プール、僧ヶ岳
A3. 異国情緒たっぷり

- A1. 半分ぐらい寝てます。テニスしたいですけど、ほとんどできてません。
時間があると病院の周り走ってます。
A2. 寒さのため引きこもりがちです。暖かくなってから考えます。
A3. 温厚な人が多いので病院自体は好きです。雪さえ降らなければ最高です。



整形外科医員
遠藤 哲先生



産婦人科医員
大洞由紀子先生

- A1. 半分くらいは自宅でのんびりしています。
温泉が好きで、金太郎温泉にも行きます。
A2. お酒やお肉もおいしいですが、意外だったのは、かまぼこがおいしいことです。
A3. 地域に密着し、信頼されている病院で働くことができとてもうれしいです。期待にこたえられるよう、これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～
午後8：00
場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～
午後7：45
場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～
場所：本館3階 指導室